

1 教育委員会

守谷市教育委員会では、茨城県教育目標や第二次守谷市総合計画を基に、新しい時代をたくましく生き抜く人づくりを目指して守谷市教育目標を定めている。そして、教育目標の4つの施策を達成するために「学力と安全と成長を保障する学校教育」「義務と責任を果たす心豊かな人づくりを推進する社会教育」を柱に取り組んでいる。特に学校教育では、学校教育プラン推進のために保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を実施するなど、実に計画的な取組みが推進されている。定例教育委員会では、市内小中学校及び事務局各課の状況報告を基に事務局と連携しながら真剣な議論によって確実に政策を推進している。そのためにも学校訪問や各種行事等に参加し、意見交換や現地の状況確認をするなど現場主義に努めている。

2 学校教育・指導室事業

- ・ 教育環境の整備・充実では、余裕教室や特別教室の有効活用、敷地内の除染作業、守谷小学校校舎改築事業による校舎の建替え完了により学校施設の耐震化100%達成、放射線・熱中症対策のため普通教室にエアコンの設置ができた。また、エレベーター設置や施設改修による一部学校のバリアフリー化が進められている。
- ・ 確かな学力の育成では、小学校2校に理科専任教員の配置、小学1・2年生対象の市基礎学力統一テストの実施による繰返し指導対策、学習支援ティーチャーを小学校25名、中学校8名配置し、学力の向上を図ることができた。県学力診断テストでは小学3年生だけが若干下回ったものの、その他の学年では県の平均正答率を上回っている。しかも学年が上がるにつれて大きく上回っている。
- ・ 豊かな心を育む教育の推進では、あいさつ運動の定着化、「守谷しぐさ」の啓発、道徳授業の公開、不登校対策、いじめ対策、異学年交流、教育相談活動等々に取り組まれているが、自己評価に「学校だけの取組みでは限界があり、家庭や地域との連携が必要です。」とあったように、如何に連携していくかが大きな課題であると考えます。
- ・ 健康と体力を育む教育の推進では、体力テストの結果から小学校は県平均を上回り、中学校は県平均を上回ることができなかったが、小中学校ともに前年度より改善されていた。特に、茨城県は全国トップクラスにいる。
- ・ 新しい時代に対応した教育の推進では、平成13年度から全校にALTを配置している。平成24年度の「中学3年時における英語検定3級以上の取得率」調査では、市全体で30.9%と全国平均を上回っている。小学1年生から週1時間の英語活動を実施してきた成果であろう。また、インターネットが活用できる小学6年生の割合は82%だった。同時に情報モラルや情報リテラシーの向上を図りたい。
- ・ 開かれた学校づくりと学校・家庭・地域等の連携では、各学校のホームページがほぼ

毎日更新されている。また、メールマガジン配信システムが全校に装備されている。特に、緊急性のある情報を提供することが求められている。保護者の加入率を高めていきたい。中学校の先生が小学校で教える「出前授業」や中学生が出身小学校を訪問する「母校ボランティア」等で教育効果を高めている。

学校教育・指導室事業の各項目において、目標達成に向けた施策が確実に実施され、概ね達成されている。

3 給食センター事業

- ・ 「安心で安定した給食を提供することができました」との力強い声が聞こえてくるようです。学校訪問による栄養指導を計画どおり実施することによって理解を深めることができた。保護者による給食センター見学会は、学校給食の理解を深めるのに大切なことである。今後も継続を望む。特に、食物アレルギー対策として保護者の声を給食に反映させ、みんなと同じものを食べられるように努力していることは素晴らしいことである。放射性物質検査で、調理した献立を2種類に増やしたり、「学校給食納入確約書」で給食費未納の解消に取組み大きな成果を上げている。今後とも調理ドライ運用を徹底して食中毒防止に努め、安全・安心でおいしい給食を提供していただきたい。

給食センター事業の各項目において、目標達成に向けた施策が確実に実施され、概ね達成されている。

4 生涯学習事業

- ・ 豊かな生活を目指した学習機会の提供・充実では、自然観察会や野鳥観察会では参加者も増え、守谷の自然について理解を深め、自然愛と郷土愛の心を育てることに寄与できた。公民館講座・教室事業は講座数が多く、実施回数もかなり増え、多く生涯学習の機会を提供できた。公民館運営に指定管理者制度が導入され、民間のノウハウに期待したい。
- ・ 学校、家庭、地域社会の連携による教育の推進では、学校体育施設開放事業で、定期サークルによる生涯スポーツのきっかけ作りと自主的活動が展開されている。
- ・ 自然体験教室や中学校富士登山を実施し参加者も増えている。心身ともに健全な身体を作り、仲間意識を育むことに重要な役割を果たしている。
- ・ 学習活動・芸術鑑賞の場の提供と公民館活動の推進では、芸術祭の開催、コンサート等の大規模支援制度、夕べのコンサート、守谷市美術作家展、もりや夢の舞と響き、公民館祭りなど、芸術文化活動成果発表の場を設け、参加者の学習意欲向上、来場者の学習機会参加促進を図ることができた。
- ・ 健康づくりの推進とスポーツ活動の充実では、健康スポーツフェスティバルが開催され、高齢者同士のスポーツ大会や健康・福祉に関する団体の発表等、市民の体力づくり、健康増進、生きがいや健康づくりで社会参加を促している。
- ・ 守谷ハーフマラソンも29回目。全国から6000名を超える参加があった。また、各種スポーツ大会では体育協会の各専門部会の協力で年間9大会を開催し、市内各クラブの交流と技術の向上に寄与している。

- ・ 放課後子どもプラン事業では、児童クラブと放課後子ども教室事業を一体的に民間業者に委託したことで指導員の確保や現場での迅速な対応ができるようになっている。今後も民間のノウハウに期待し、サービス向上を図ってもらいたい。

生涯学習・社会教育事業の各項目において、目標達成に向けた施策が確実に実施され、概ね目標が達成されている。

5 図書館事業

- ・ 気軽にいつでも気持ちよく利用できる図書館では、多様な資料の収集・整理・保存に努める中で、市民一人当たり県内トップの資料費 500 円が確保され、図書、視聴覚、雑誌、新聞等を収集して資料の充実が図られた。一人当たりの貸出冊数 13.5 冊と県内 2 位の高水準を維持している。また、養成講座を開き新たなボランティアを育成できている。
- ・ 図書館機能の強化とサービスの充実では、図書館ネットワークの活用により市民が求める資料及び情報の効率的、効果的な貸出し返却ができています。さらに、希望した予約の本を配送サービスを使って最寄りの貸出窓口確実に届けることができています。

図書館事業の各項目において、目標達成に向けた施策が確実に実施され、概ね目標が達成されている。

< 総括 >

教員委員会全体の評価について

守谷市の教育予算は、一般会計決算額の何と 18.3% を占めている。如何に子どもたちのために教育予算を掛けているか驚いている。数字による表現が多く見られ、成果がより具体的で実態がよく理解できた。

各課各事業において、目標達成に向けた施策が確実に実施され、概ね目標が達成されている。

守谷市民の一人一人が、守谷市を心豊かに暮らせるように発展させていこうとする取り組みや気持ちが伝わってきた。課題もたくさんありますが、「今後の課題と対応方向」をしっかりと捉えているので、PDCA サイクルが確実に機能している守谷市教育委員会にとって、次年度以降改善され则认为している。

各学校における成果と課題の中で、ある学校では「ユニバーサルデザインを意識した学習を通して、………」とありましたが、この考え方を各教科指導に導入していければ、個人差を考慮した教育ができるのではないかと考えます。

多くの先生方から「教育委員会は学校のために良く対応してくれる」「教育費を十分掛けてくれる」「平成 20 年度から守谷市独自の取り組みとしてのオリジナル・ティーチングプランは、先生方の意欲にも繋がっている」と聞くことができた。

今後、さらに児童生徒一人一人の安全安心のための「いじめ問題」「体罰問題」の解消にもしっかりと取り組んでいって欲しい。